



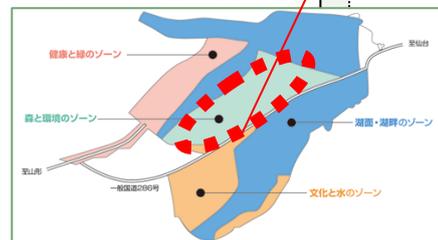
みちのく森の楽校だより 第3回

みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。

里山地区



6月28日(土) 曇り時々雨 開園後、初めての会員活動です！

森の楽校の第3回は、里山地区が開園してから初めての会員活動でした。これまで慣れ親しんだ「あだこた」ではなく、「小野分校」に集合です。「小野分校」には水道もあって、「森の楽校」にはバイオトイレもできました。ずいぶん、便利になりました。ものづくりの活動は園路名称サインづくりです。

小野分校で朝礼

新しい「小野分校」ですが、使っている家具類は古くから使われている閉校になった川崎町の小学校からいただいたもの。

黒板、時計、木工用の作業テーブル、教室椅子に木工用椅子、本箱、本、紙芝居用ケース、天体望遠鏡。どれも使い込んだもの。ここでも大切に使います。



昔々の小麦粉カレー

今の時期は収穫物がありません。今あるものを利用して、普段食べられないものって何だろう？

いろいろ考えて、小麦粉を使った昔々のカレーにしました。小麦粉は自然共生園の小麦粉です。昭和の味がする小麦粉カレー。懐かしいでしょ！

小麦粉をじっくりキツネ色になるまで炒め、香ばしい香りを出します。キツネ色の状態をブラウンルーと言います。小麦粉のグルテンがとろみになります。



梅寒天

デザートには、去年作った梅サワーの梅の実を使った梅寒天。梅にはクエン酸がいっぱい。この時期の熱中症予防には最適です。

棒寒天をちぎって水につけてふやかし、お湯に寒天を小さくちぎりながら入れて、溶けるまで良くかき混ぜ、寒天が溶けたら少し冷まして、予め細かく切っておいた梅の実を入れます。

少し心配しましたが、うまく固まりました。



昔々カレー

梅寒天

里山冒険遊び

ツリーハウスとアスレチックは、里山地区開園に向けて、3年余りの歳月を経て、里山ボランティアが力を合わせて作りあげたモニュメントです。

ボランティアの誘導で、体験利用をしました。



園路名称サインづくり

園路の名前を書いたサインづくりが続いています。

杉丸太を半割りにして、文字をルーターで掘って、きれいにやすりを掛けます。

防腐剤を塗って、文字に墨入れをしたら完成。



できたサインを建てるために、支柱を取り付けています。細い杉丸太の皮をむいて、防腐剤を塗って、サインとビス留め。

次回は建て込みができそう！

プランター畑

「小野分校」西側の空き地に、小さなプランターの野菜畑と発泡スチロール田んぼを作りました。

さっそく、ミニトマトの実がなりました。



桑の実とグミの収穫

びっきの水辺の斜面には、桑とグミの木があって、実がたわわに成っていました。

収穫して砂糖漬けにしました。



第4回は7月26日（土）、今回の活動の園路名称サインの建て込みをします。

第5回は、8月23日（土）です。暑い盛りです。